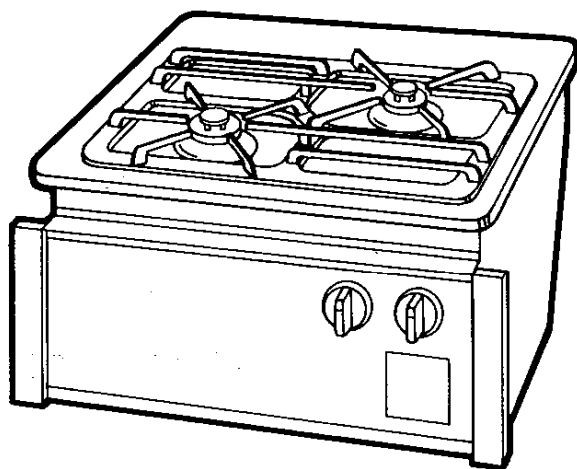


ビルトインコンロ

10-772型

型式名 DC2002



取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

大阪ガス

ごあいさつ

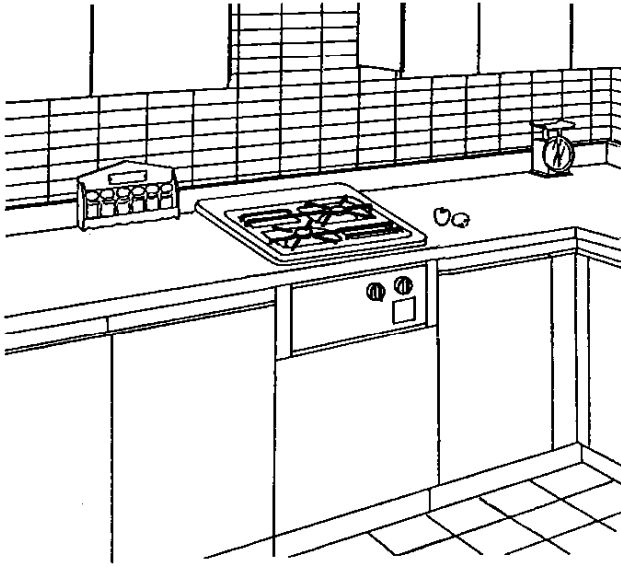
このたびは、大阪ガスのビルトインコンロを
お求めいただきまして、
まことにありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を
大切に保管してください。

もくじ

● 特長・機能のご紹介	1
● 必ずお守りください	2・3・4
● 各部のなまえとはたらき	5
● 器具の設置	6・7
● 使いかた	8・9・10
● 点検・お手入れ	11・12
● 故障かな?と思ったら	13
● 寸法図と仕様一覧表	14
● 保管とアフターサービス	15
● 別売部品のご納介	16

特長・機能のご紹介



●お料理上手なチャオが
シンプルデザインで
リフレッシュ!!

●コンパクト設計で
キッチンすっきり

●中華料理に最適 チャオバーナー

4,100kcalの強火バーナーで炒めたものをシャキッと仕上げたり、湯を早く沸かすのに便利です。

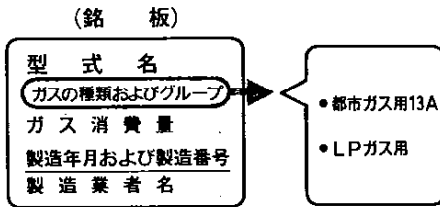
●つまみは押し廻し式 簡単で確実



必ずお守りください

●ガスの種類を確かめる

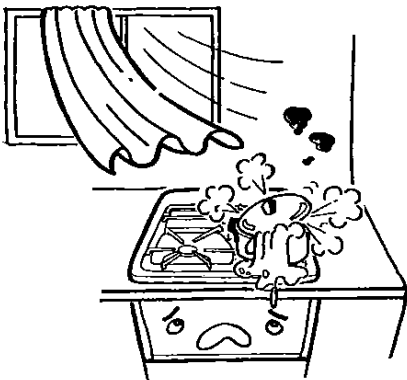
- 電池ケースのふたの裏にはってある銘板（ラベル）に表示のガスの種類とお宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。
- ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。



- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

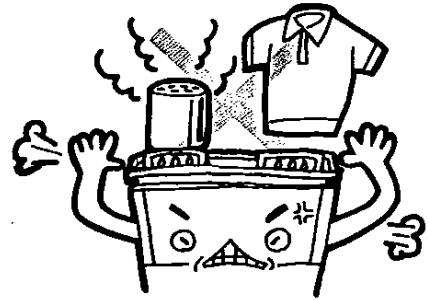
●使用場所について

- 強い風の吹き込む所では使用しないでください。
- カーテンや、燃えやすいものの近くでは使用しないでください。
- 棚の下など、落下物の危険のあるところでは使用しないでください。



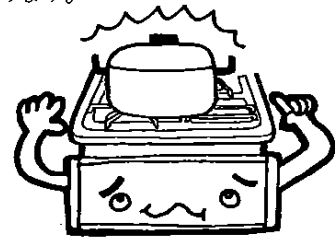
●用途について

- 調理以外の用途（炭・煉炭おこし・衣類の乾燥など）には使用しないでください。
過熱・異常燃焼などによる焼損、火災などの危険があります。



●市販の補助用具について

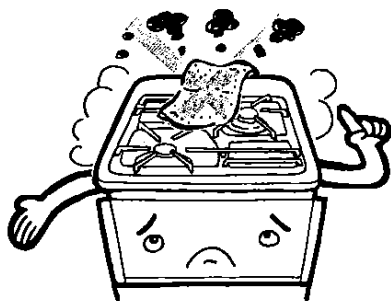
- 極端に大きな鉄板やなべ、熱を逃がさないようにするためのなべ棒などは、使用しないでください。
不完全燃焼をおこしたり、器具の異常過熱の原因になります。



ガスもれ・やけど・火災 故障などを防ぐために

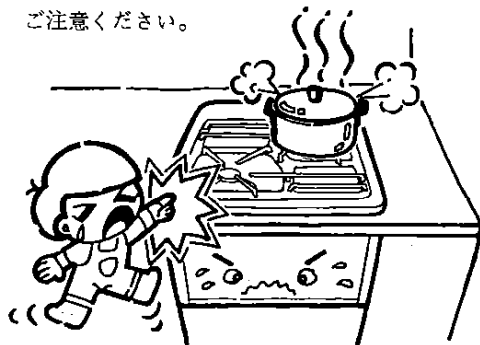
●火災予防について

- 器具の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。



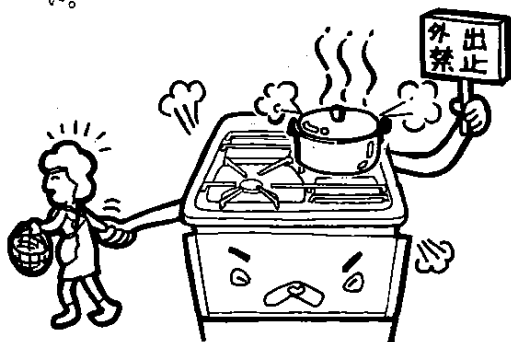
●やけどの注意

- 使用中および使用直後は、器具本体とその周辺は熱くなりますので、つまみ以外はさわらないでください。特に小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。



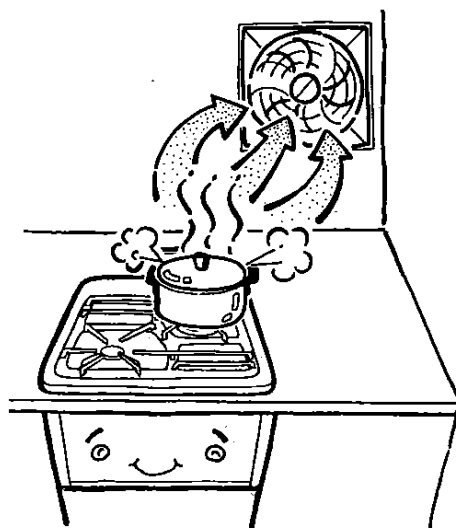
●使用中の外出について

- 火をつけたまま就寝、外出は絶対にしないでください。
- 天ぷらなど油料理の場合、火をつけたまま場所を離れたり、加熱しすぎないようにしてください。



●換気について

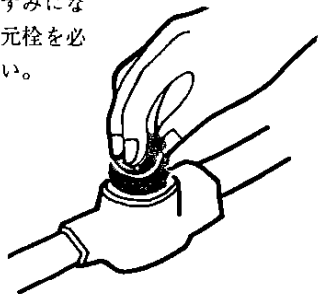
- ご使用と同時に換気扇を回すなど、換気にご注意ください。



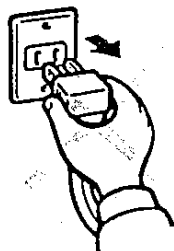
必ずお守りください

● ガス事故防止

- お出かけやおやすみになるときは、ガス元栓を必ず閉じてください。



- ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元栓を閉じ、窓や戸を全部あけて、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガス支社にご連絡ください。



- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇その他電気器具を操作しないでください。
(スイッチの入・切や電源プラグの抜き差しなど)
火や火花で引火し、爆発事故などをおこすことがあります。

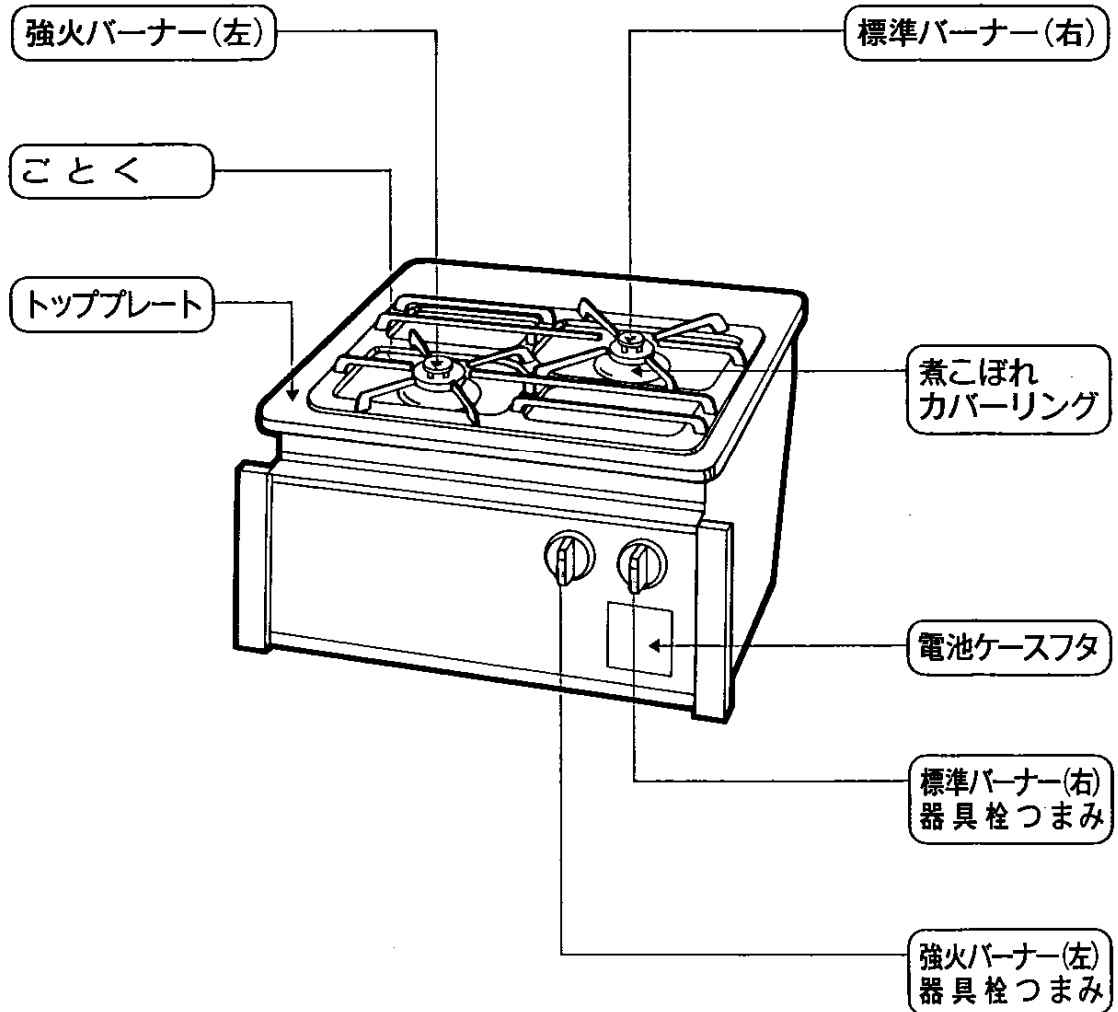
● 異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときはそのままお使いにならず、直ちにご使用を中止（器具栓、ガス元栓を閉止）して十分な点検をお願いします。
〔故障・異常の見分け方と処置方法については13ページをお読みください。〕

● 日常の点検・お手入れ

- 器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、手入れは必ず行ってください。
(詳しくは11～12ページをお読みください。)
- 故障または破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。
- 万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い求めの販売店、または大阪ガス支社にご連絡ください。

各部のなまえとはたらき



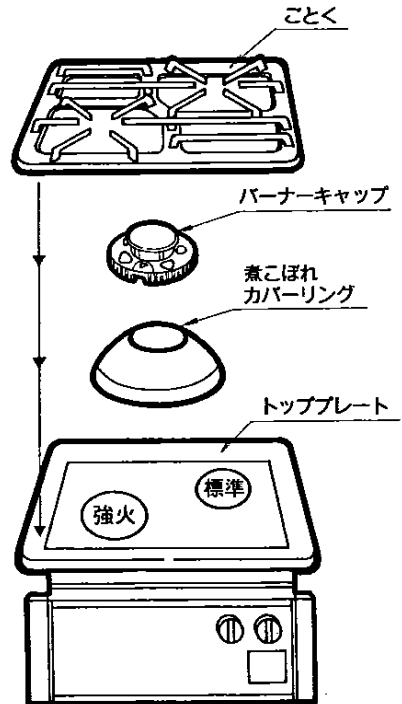
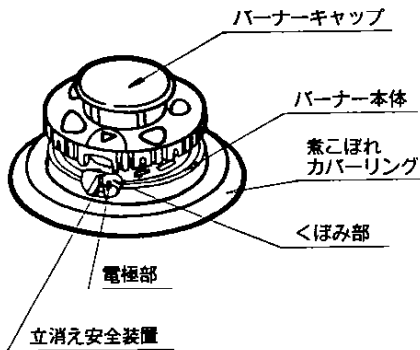
器具の設置

設置前の準備と確認

- 器具の設置はお買い上げ店に依頼し正しく設置してご使用ください。詳しくは設置・工事説明書に記載されています。

● 部品の取り付け

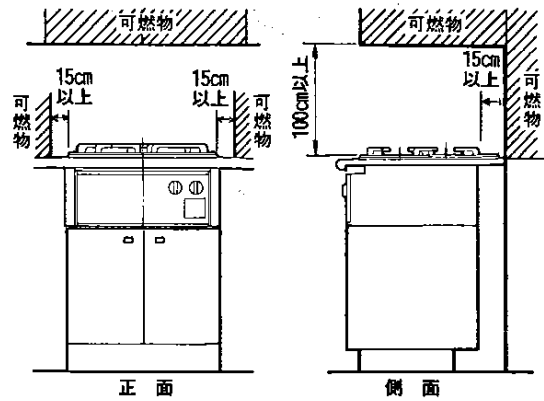
- トッププレートの上に煮こぼれカバーリング、バーナーキャップ、ごとくの順に正しくのせてください。
- バーナーキャップ、煮こぼれカバーリングは図のように強火標準の位置を確認して正しく取りつけてください。
- バーナーキャップは傾いたりしないよう、バーナーキャップの凸部（▽印）とバーナー本体側のくぼみ部とが必ず合うようにはめてください。それ以外の位置では確実にハマりません。



設置上のご注意

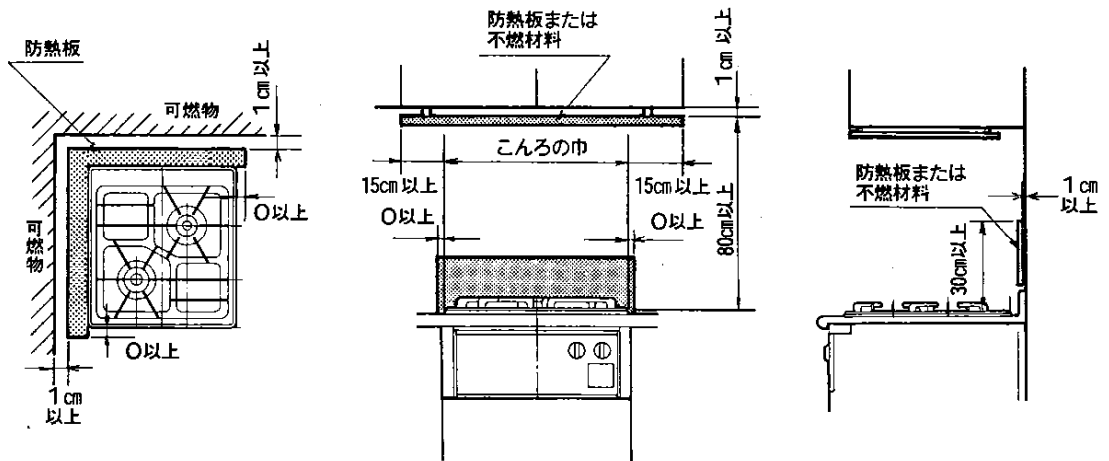
●周囲に可燃物（木製の壁、棚など）のある場合

- トッププレートより上の側面及び背面は木製のような可燃性の壁から15cm以上離してください。可燃性の壁にステンレス板などを張ってある場合も同様です。また上部はトッププレート上面から100cm以上離して使用してください。（但し不燃性の場合は80cm以上。一火災予防条例で定められています。）



●可燃性の壁（ステンレス板等を張りつけた可燃性の壁も含む）から15cm以上離して設置できない場合

- 図のように必ず別売の防熱板（(4)15-100-0084～7）または防熱板相当の不燃材をとりつけてください。



ガスの接続

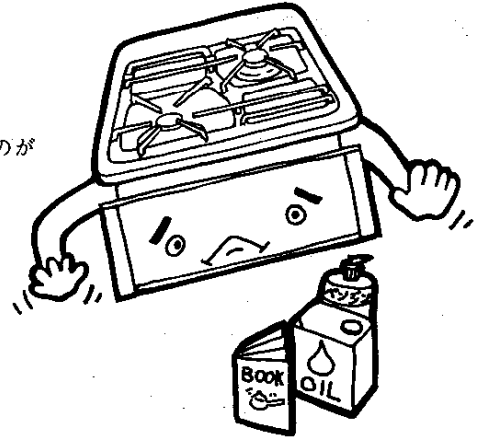
- この器具は必ず鉄管または金属性可とう管等、金属管で接続してください。
- 配管工事は大阪ガス指定業者に施工を依頼してください。

使いかた

●操作前の準備と確認

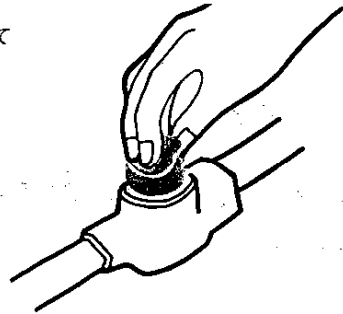
①器具周囲の確認

- 器具の近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものが置いていないことを確認してください。



②ガス元栓を開く

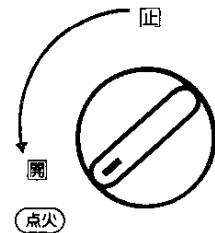
- 開く前に器具栓つまみが「止」の状態であることを確認してください。



●点火操作

①器具栓つまみを押しまわす

- 器具栓つまみを押しながら「止」の位置より左へ「点火」の位置までまわすと「パチパチ」とスパークしてバーナーに点火します。
- バーナーに点火したことを確認してから、数秒間（安全装置が働くまで）そのまま「点火」の位置で保持したのち手を離してください。このとき器具栓つまみは自動的に「開」の位置にもどります。

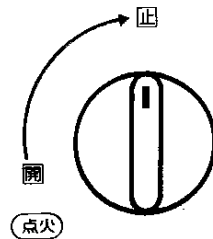


ご注意

- この点火装置は同時点火方式になっておりますので、1ヶ所の点火操作で全ての点火装置が「パチパチ」とスパークしますが異常ではありません。
- はじめてお使いになるときや長時間たってお使いになるときは、配管内に空気が入っていて点火しにくい時がありますので、「点火」の位置でしばらく押し続けてください。

●火力調節

- 器具栓つまみを「開」方向へまわすと火力は強く、「止」方向へまわすと火力は弱くなります。炎をみながら調理に適した位置に加減してください。



ご注意

- 器具栓つまみは、必ず炎を確認しながらゆっくり操作してください。
- 火力をしほりすぎますと火が消えることがありますのでご注意ください。

●消火操作

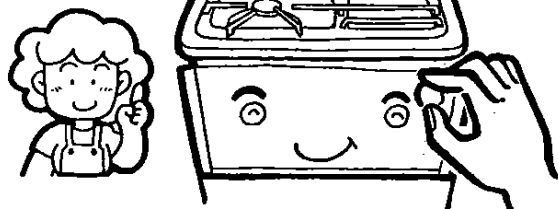
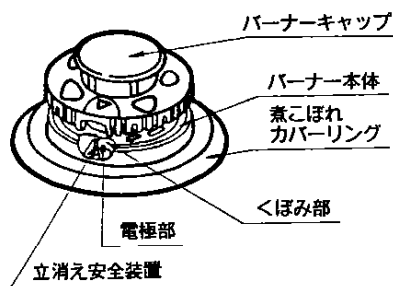
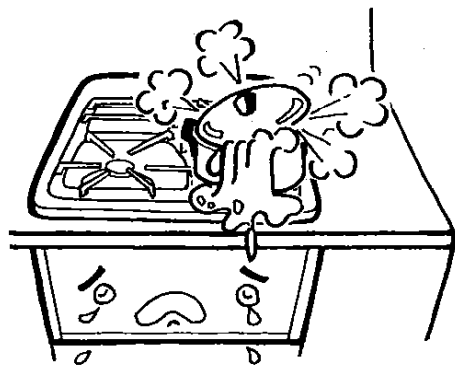
①器具栓つまみをまわす

- 器具栓つまみを「止」の方向に止まるまで完全にまわして消火してください。
- 必ず火が完全に消えたか確認してください。

使いかた

使用時のご注意

- ・煮こぼれは器具を早くいためますのでご注意ください。煮こぼれで炎口が詰まると炎が逆流して、器具の内部で燃えるおそれがあり危険です。
- ・点火の際は、こんろになべやヤカンをかけて点火し、全部の炎口に点火したことを確かめてください。
- ・トッププレートに水を入れて使用しないでください。
- ・電極の火花の出る部分はさわらないでください。取付位置がづれますと点火しなくなります。



立消え安全装置について

- ・立消え安全装置は、煮こぼれや風などで火が消えた時にガスを自動的に止める装置です。
- ・バーナーに点火したことを確認してから、数秒間（安全装置が働くまで）そのまま「点火」の位置で保持したのち手を離してください。

安全装置が作動したときの処置方法

- ・使用中バーナーが消火したときは、すぐに器具栓つまみを「止」の状態にもどしてガスを止め、さらにお部屋のガス元栓も「止」の状態に戻して13ページの「故障かな?と思ったら」および、つぎの方法により処置してください。

● 処置方法

- ・バーナーの炎が消えたときには、立消え安全装置が働いて自動的にガスが止まりますが、完全に止まるまで少し時間がかかります。(30秒～1分程度)
バーナーの消火に気づいたときは、すぐに器具栓つまみを「止」の状態にもどしてください。
- ・再点火されるときは、周囲に生ガスがなくなるまで少し(約1分)待ってから「点火操作」に従ってください。

点検・お手入れ

● 日常の点検

① 付属品が正しくセットされていますか？

- バーナーキャップ、ごとく、煮こぼれカバーリングなどは正しくセットされた状態でお使いください。

② つまり、たまり、汚れはありませんか？

- バーナーキャップの炎口が煮こぼれなどでつまっていませんか。
- 立消え安全装置の先端が、煮こぼれなどで汚れていませんか。

● お手入れ

① ごとく・煮こぼれカバーリング

- 中性洗剤をふくませた、スポンジタワシなどのやわらかいもので洗います。
- 洗ったあとは水洗いをし、乾いた布で十分水気をふきとってください。

② トッププレート

- 液状の洗剤を布にふくませて汚れを落とし、お手入れ後はよくしぼった布で洗剤や水気を十分ふきとってください。

※お手入れのとき、器体内部機構に水がかかったり入ったりしないようご注意ください。

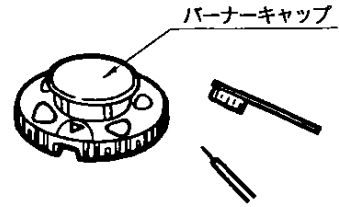
ご注意

- ヒルトインコンロを安全に長くご使用いただくために日常の点検、お手入れを必ず行ってください。
- 日常の点検・お手入れの際にはガス元栓を閉じ、器具が十分冷えてから行ってください。

点検・お手入れ

③ こんろ用バーナー

- バーナーキャップは簡単に取りはずせません。ゴミや煮汁でつまったときは、ブラシやキリ状のもので掃除してください。目づまりしたまま使用しますと不完全燃焼をおこすことがあります。



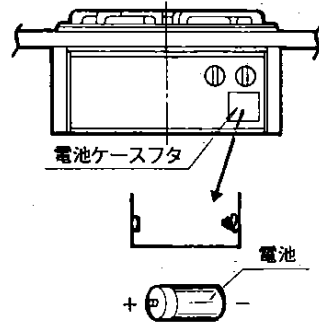
ご注意

- 再び取りつける時は傾かないように確実にセットしてください。
- 強火、標準バーナーの位置に正しくセットされているか確認してください。
- バーナー本体についている電極は動かしたりしないでください。

部品交換のしかた

● 電池

- 着火がしにくくなったら電池が消耗していますので、新しいものとおとりかえください。
- 電池は、電池ケースフタの中にある電池ケースにはめ込んでください。
- 電池は単二 (1.5V) 1個使用です。



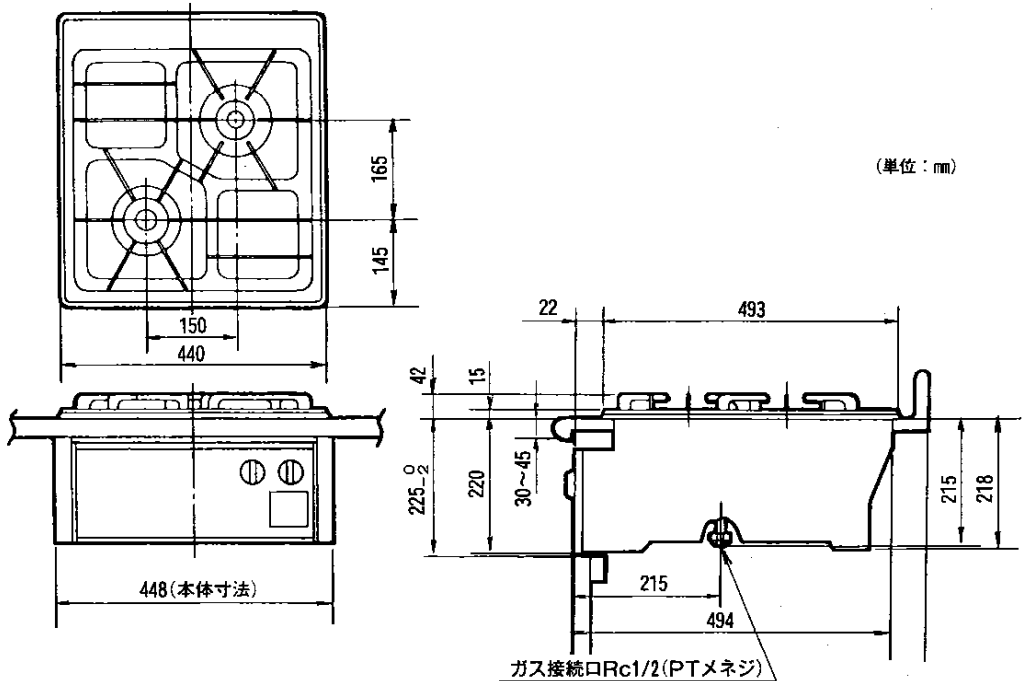
故障かな?と思ったら

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

原因	現象							処置方法	参照ページ
	点火しない・点火しにくい	火移りしにくい	黄炎で燃える	炎が安定しない	異常な音をたてて燃える	使用中に消火する	ガスまたはいやなおいがする		
ガス元栓の開け忘れ	○							ガス元栓を開ける	—
ガス元栓の開きが不十分		○				○		(全開にする)	—
バーナーの炎口つまり	○	○	○			○		つまりを取り除く。それでも直らないときは点検を依頼する	12
バーナーキャップの浮き	○	○	○	○	○		○	バーナーキャップを正しくセットする	6
点火装置の電極部の汚れ	○							汚れをふきとる。それでも直らないときは点検を依頼する	—
ノズルつまり	○	○						点検・修理を依頼する	—
点火装置の故障	○						○	〃	—
器具栓の故障	○						○	〃	—
器具の銘板と使用ガスの不一致	○	○	○	○	○	○	○	〃	—
点火操作が適切でない	○							「使用方法(点火)」参照	8
立消え安全装置の作動						○	○	「使用方法(点火)」参照の上、正しく操作する	8
立消え安全装置の故障						○	○	点検・修理を依頼する	—

処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店または大阪ガス支社へご連絡ください。

寸法図と仕様一覧表



器 種 名	ビルトインコンロ				
品 名	10-772				
外 形 寸 法	高さ262mm(ごとく高さ含む)×幅448mm×奥行494mm				
重 量 (器 具)	10kg				
点 火 方 式	連続放電点火 (DC1.5V)				
安 全 装 置	立消え安全装置				
使 用 ガ ス 使用ガスグループ	1時間当りのガス消費量				ガ ス 接 続
	個別ガス消費量		全 点 火 時 ガ ス 消 費 量	R c 1/2 ガ ス 管 (PTメネジ)	
	強火バーナー (左)	標準バーナー (右)			
都ガス用 13A(kcal/h)	4,100	2,300	6,300		
LPガス用(kg/h)	0.251	0.176	0.400		

保管とアフターサービス

●アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- ・13ページ「故障かな?と思ったら」の項を見て、もう一度ご確認ください。
- ・確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないで買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

1. 品名……ヒルトインコンロ
2. 品番……前面パネルの左上部に表示してあります。
3. 現象……(できるだけ詳しく)
4. 道順……(できるだけ詳しく)

(品番) 10-772

転居されるとき

- ・ガスには都市ガス13種類、およびLPガスの区分があります。ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証・補修について

- ・保証期間中は…保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。保証書を紛失されますと、無料期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- ・保証期間経過後の故障修理についてお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切後6年間です。

●保管(長期間使用しない場合)

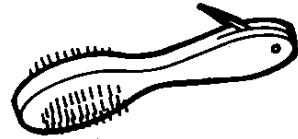
- ・ガス元栓を閉じてください。
- ・各部の汚れを取り除き、湿気やほこりに注意してください。

別売部品のご紹介

次の様な別売部品を用意しています。大阪ガス支社、サービスセンター、サービスショップでお求めください。

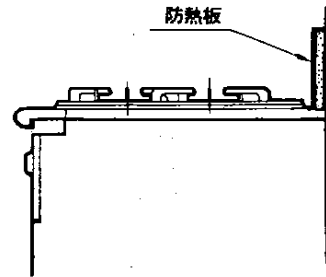
●掃除ブラシ(4)94-100

- バーナーが目づまりしたときに掃除していただくと安定した燃焼が得られ、効率よく安心して使っていただけます。



●防熱板(4)15-100-0084~7

- 設置場所で、可燃性の壁（ステンレス板等を張りつけた可燃性の壁も含む）から15cm以上離して設置できない場合、図のように取り付けて使用してください。



本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

南支社	〒557 大阪市西成区玉出東2-9-41	TEL(06) 652-0001
北支社	〒532 大阪市淀川区十三本町3-6-35	TEL(06) 301-1251
南部支社	〒590 堺市住吉橋町2-2-19	TEL(0722)38-1131
北部支社	〒569 高槻市藤の里町39-6	TEL(0726)71-0361
阪神支社	〒662 西宮市和上町4-11	TEL(0798)26-3101
東部支社	〒578 東大阪市稲葉2-3-17	TEL(0729)62-1131
京阪支社	〒573 枚方市西田宮町16-17	TEL(0720)41-1251
神戸支社	〒650 神戸市中央区相生町5-13-10	TEL(078)576-5231
京都支社	〒604 京都市中京区烏丸御池梅屋町358	TEL(075)231-8151
奈良支社	〒631 奈良市学園北2-4-1	TEL(0742)44-1111
和歌山支社	〒640 和歌山市本町1-1-1	TEL(0734)31-2481
姫路支社	〒670 姫路市神屋町4-8	TEL(0792)85-2221
東播支社	〒675 加古川市加古川町粟津29-1	TEL(0794)21-1801
豊岡支社	〒668 豊岡市三坂町6-57	TEL(07962)3-2221
湖南支社	〒525 草津市追分町字荒堀680-1	TEL(0775)62-5311
彦根支社	〒522 彦根市大東町12-11	TEL(0749)22-3131
長浜営業所	〒526 長浜市南呉服町3-4	TEL(0749)62-7171
本社ガスビルサービスセンター	〒541 大阪市中央区平野町4-1-2	TEL(06) 202-2221

大阪ガス株式会社

おねがい

ガスくさいときは、ガス元栓を閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)大阪ガス支社、サービスセンターにご連絡ください。